

第4回草津川跡地市民ワークショップ

主な意見への市の考え方

6月29日に開催された第4回草津川跡地市民ワークショップは、前向きな意見や感想が出され活発な会となりました。参加した市民の皆さまから出された主な意見について、以下のとおり、取りまとめました。



【区間②平面図への主な意見】



1. 菜園ガーデン

- 周辺の農業関係者の意見を踏まえた空間整備をしてほしい。

(市の考え方)→ 当区間の整備については、「農と人との共生」をテーマに、食を通じた農家と都市住民の交流の場を計画しており、近隣住民の方や、農業関係者の皆様のご意見を聞きながら整備してまいります。

- コンポスト等を利用し、化学肥料不使用エリアをつくってみては。

(市の考え方)→ 草津川跡地では、コンポストなどを利用し、落ち葉などを堆肥化し、緑地やガーデン、菜園等で利用し循環させる仕組みを考えてまいります。化学肥料不使用エリアの設定については、有機肥料の臭いなど周辺への影響も考慮したうえで検討いたします。

- 水やり等の水源の確保が必要ではないか。野菜を洗ったり、水やりするのに、池や水路がもっとあった方が便利ではないでしょうか。

(市の考え方)→ 草津川跡地では、ガーデン活動や農業施設等で利用する水の確保として、水道水の他に、貯留した地下水や雨水を利用する計画をしております。この水は散水以外に、災害時の消火用水の他、仮設トイレの洗浄用水、手洗い用水としても利用できると考えております。必要な施設等、具体的な計画については今後、検討してまいります。

- 堤防が低くなるため、防犯面(周辺の農作物を守るため)の対策として、柵を設置してほしい。

(市の考え方)→ 草津川跡地は、人が集い交流する、にぎわい空間づくりを目指しております。整備後は草津川跡地に多くの人が集まることが予想されることから、設計を進めていくなかで、防犯対策について、皆様のご意見を聞きながら検討してまいります。

2. ふれあい広場

- ふれあい広場をドッグランとして利用できるのか。

(市の考え方)→ 詳細な利用方法については、今後検討してまいります。

- ふれあい広場の動物等の管理やコストについて検討しているのか。

(市の考え方)→ ふれあい広場の整備については、民間事業者の参入も視野に入れ、コストや立地、運営の可能性、周辺への影響等を考慮しながら、地域の魅力に資する事業の具体的な企画等について、実現の可能性を含めて検討していきます。

- やぎやうさぎを放牧したい。

(市の考え方)→ 放牧に関しては、一定の管理のもとに行う必要がありますが、個々での放牧は難しいと考えますが、今後、地域の魅力に資する具体的な空間の利活用策について検討していきますので、これからも活発なご意見をお寄せください。

3. 防災

- 給食センターとの連携が必要。

(市の考え方)→ 浜街道沿いにあります、給食センターは、草津市地域防災計画では、災害時の炊き出し拠点として機能する計画となっています。草津川跡地に整備される道路、広場を利用し、避難者への炊き出し等の運搬を行うための集配送拠点とする等、給食センターとの連携を図り、防災機能を強化させます。

- かまどベンチ等を設置してほしい。

(市の考え方)→ 草津川跡地は、広大で連続した空間であり、高い防災機能を備えております。そのため、整備にあたっては、日常の利用を基本に、一次避難地に準じた空間計画や、かまどベンチ等の防災施設の整備を検討しております。

4. その他

- ゴミ拾いのボランティア(NPO)を立ち上げてはどうでしょうか。

(市の考え方)→ 草津川跡地を将来に渡り持続し、発展させるためには、行政だけではなく、市民、NPO、民間事業者などが連携して持続的な事業展開を行っていく必要があると考えています。そのため、計画段階から市民の皆さんの参加をいただき、継続的に管理運営ができる様に、市民の皆さんが参加できる組織を立ち上げたいと考えておりますので、是非ご協力をお願いします。

- 自然エネルギーの活用と設置の検討をしてほしい。

(市の考え方)→ 太陽光エネルギーや地下水を利用したりするなど自然力を積極的に取り入れ、自然環境への負荷をできる限り小さくできるよう計画します。

- 小学校もあるため、夜暗くなってしまうよう、防犯に対する検討も必要。

(市の考え方)→ 周辺の環境への影響も考慮したうえで、当区間を安全に利用できるよう、街灯等、防犯対策に必要な施設の計画を行います。

- 市民が焚き火や石釜を自由に使えるといい。いも煮会をしたい。

(市の考え方)→ 焚き火などは、火災の危険もあり、一定の管理の下で行う必要があると考えておりますが、草津川跡地は、誰もが利用できる空間として、市民のイベント等、様々な利用ができるよう検討してまいります。

【区間⑤平面図への主な意見】



空間イメージ



1. ガーデン・植栽

- ガーデン部分が人工的な感じがする。緑が少ない。森のような状態の部分があっても良いのではないかな。
- 樹木の植え方を自然な形にしてほしい。日陰になる様な木を植えて欲しい。
- 壁面もコンクリートだけにならない工夫をして欲しい。

(市の考え方)→ 草津川跡地は、自然風の植栽デザインを基調とし、多様な高木や中低木の樹木や草花をバランスよく組み合わせ、季節の移り変わりが感じられるような演出をします。また、構造物のコンクリート等は、できるだけ緑と調和するよう努めます。

2. 広場

- 土手すべりがしたい。芝生の上で青空ヨガをしたい。
- グランドゴルフができるようにしてほしい。子どもが安心して遊べる空間にしてほしい。
- アスレチック的な所がほしいです。
- 子ども達が滋賀の歴史・文化を学べるイベントをつくる。

(市の考え方)→ 現在の計画では、子どもから高齢者まで、色々な人たちが、土手すべりや青空ヨガなどの様々な活動や自然学習、イベント等ができるような空間づくりに努めております。しかしながら区間⑤は、基本計画の中で、高質な緑空間と位置付けているため、日常的に活用する、グランドゴルフやアスレチックなどの施設の設置については、区間③での対応を検討いたします。

3. 施設・設備

- カフェなどが楽しみ。本屋があつたらいい。芝生にすわりながら読書を楽しむ。草津の野菜をPRする。

(市の考え方)→ 多くの皆様がつるぎるカフェ等の店舗の出店については、出店事業者と調整を行いながら空間イメージに合った店舗展開を行います。また、市民の憩いの場となる、緑の空間整備を行うとともに、地域の野菜をPRできるような、マルシェ(市場)等が開ける様なイベントを検討してまいります。

- 建物がすべて近代的なものですが、和風なものも作ってほしい。自然になじむ建物にしてほしい。

(市の考え方)→ 店舗デザインについては、出店募集時に全体の店舗イメージを具体的に表して、展開するように考えてまいります。

- 自転車置き場がほしい。

- 駐車場が少ない気がします。大型の駐車場が必要。

(市の考え方)→ 駐輪場や駐車場については、市場の動向を見ながら適切な規模を設置いたします。また観光バスなど大型車輛は、隣接する区間④の既存駐車場を利用できるものと考えます。

4. 堤体・大階段

- 堤体が弱いのでは。

(市の考え方)→ 堤体の強度については、調査を行い、安全性を確認しております。

- 階段が急すぎる。手すりが必要。コンクリートだけでなく緑がほしい。

- 大階段は不要と思います。平地にするべき。

(市の考え方)→ 区間⑤の堤体については、現堤体構造を原則保全することとし、天井川としての歴史を継承します。草津川マンポ周辺は、にぎわい空間の中心となる場所であり、当区間のメインエントランスとしています。そのため大階段は、商店街から草津川跡地に展開するにぎわい空間へのスムーズなアクセスを確保し、人を呼び込む効果を期待しております。整備にあたっては、安心・安全に利用でき、また景観に配慮した階段となるよう、できるだけ緩やかな勾配とし、手すりの設置や緑の配置等も検討してまいります。

5. 道路・遊歩道

- 車道の部分を設けてほしい。

(市の考え方)→ 区間⑤については、中心市街地活性化事業と相まって、新たな集客、交流を図る拠点として位置づけ、にぎわい空間とする計画であり、人が集う場所の活用と自動車の通過交通を一体的にすることは、大変難しいと考えております。区間⑤の中央部に計画している幅員7mの園路については、高質な緑の空間の散策や、マルシェ等のイベント開催時の、人と人の交流に大きな役割を担うものと考えており、災害時といった有事の際の対応として、緊急輸送路としての道路の活用を計画しております。

- 歩道と自転車道の区別はあるのか。安心して利用できるよう分離がいい。

(市の考え方)→ 区間⑤では、歩行者、自転車などの多様な交通手段が想定されることから、交通が錯綜することなく、安全かつ快適に利用できるよう、歩行者・自転車の分離の手法を検討します。

6. その他

- 愛着がわくように、それぞれの道に名前をつけてはどうか。

(市の考え方)→ 快適で心地よい空間を醸成するには、市民の皆様にあいさつされるデザインや名称などの検討が大切であると考えておりますので、皆様のご意見を参考にしながら、地域の方に愛される空間となるよう、整備を進めてまいります。

- 工事車両の通行をどうするのか。

(市の考え方)→ 整備区域近隣にお住まいの方に対して十分に配慮し、工事車両の進入路について検討してまいります。工事期間中の市民の皆様のご協力をお願いします

※頂いたご意見のうち、同趣旨のものは事務局で適宜まとめております。また感想等については公表していませんが、今後の計画作りや施策の実施にあたって、参考とさせていただきます。